

にこで

～和手～



2020年夏号 南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹 発行

今年もまもなく折り返しを迎えますが、年の初めには、まさかこのような状況になろうとは想像もしていませんでした。この「にこで」では時々、横浜市感染症情報センターが毎月発行している『感染症に気をつけよう』を紹介していますが、振り返ってみると、既に2月号で新型コロナウイルスについて掲載されていました。微力ですが、支援者の皆さんの活動を支える情報をお届けできるよう、これからも努力してまいります。

子育て関連 ニュース スクラップ

第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画

～子ども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン～ スタート！

昨年10月に素案が公表され、パブリックコメント(市民意見募集)が行われていることを『にこで30号』でもお伝えしました。総計227通、1400件の意見が集まり、その内38件が素案の修正に活かされました。その後、3月の横浜市議会で可決され、4月から2期計画が施行されています。

南区にもう一つ常設のひろばがOPEN！ さくらザウルス別所ひろば

南土木事務所跡地に建設されたマンション1階に4月1日開設されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ひろば利用を休止していましたが、6月から再開しました。

大きな絵本の木がシンボルの広々としたプレイルームは、二つに分けて使うことができ、今後は、部屋貸しや一時保育等も行っていく予定です。

月曜～金曜 10時～16時 (祝休日・第2木曜日・年末年始は休み)

【注】現在は10時～と、13時30分～の入れ替え制

利用料: 無料

南区別所 1-7-23 ヴェレーナグラン横濱上大岡1階
(最戸一丁目公園前のマンション1階)

京急・地下鉄 弘明寺駅・上大岡駅からいずれも徒歩11分

TEL:045-875-4899 / FAX:045-711-2801



横浜市のホームページに計画の全体版・概要版・パブリックコメント実施報告書が掲載されています。



はぐはぐの樹公式 Instagram はじめました！



今迄、はぐはぐの樹の情報発信ツールは「はぐはぐの樹だより」とホームページでした。子育て中の皆さんと、もっとつながることができないかと考え、スタートしました。

はぐはぐの樹の日常の出来事や、絵本サポーターのオススメ絵本等の他、現在、はぐはぐの樹交流スペースの利用は3回入れ替え予約制になっているため、その予約状況なども発信しています。



Instagram

@haghnoki_minami





はぐはぐの樹 多文化子育て講演会

ちがいを超えて ともに生きる

～外国につながる子どもたちを支える地域づくり～

2020年2月1日(土)

14:00～16:00

大岡地区センター

3階レクホール

現在、横浜市に暮らす外国人は10万人を超えています。南区は外国人住民が3番目に多い区。言葉や習慣の違いから、孤独や不安を感じている子どもたちの居場所の運営に長年取り組んでいるのが、今回、講演していただいた「NPO 法人在日外国人教育生活相談センター・信愛塾」さんです。講演会には60名が参加し、熱心にお話に聞き入りました。



▲信愛塾のシンボルマーク



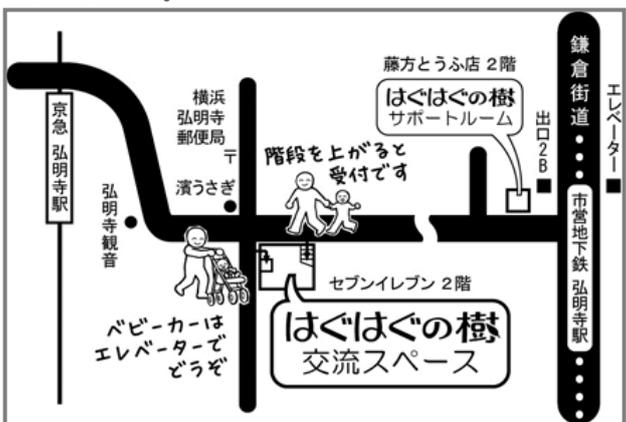
信愛塾のシンボルマークは、活動の中の子どもたちの様子などについてお話して下さった、スタッフの福島さんがデザインされたそうで、まさに“寄り添う姿”が表現されています。一言で「外国人」といっても、国籍や状況はそれぞれで、とても多様化しているし、外国につながる日本国籍者も増加しているとのこと。そして、子どもたちの抱える問題もより複雑になってきています。だから、多言語に対応した伴走型の支援が重要であり、それを実現するためには、弁護士・通訳などの専門家や児童相談所・学校・区役所等の関係機関、そして自治会町内会や身近な地域の人たちがつながりあっていく必要があるということ、強く感じました。

この講演会を機に、はぐはぐの樹では、外国につながる親子を対象としたサロンを、みなみ市民活動・多文化共生ラウンジさんと共催で企画しました。現在は実施を見合わせておりますが、いずれ定期的に開催することを目指しています。

ご登壇いただいた信愛塾センター長の竹川さん、福島さん、そして参加して下さった皆さん、どうもありがとうございました。

◆◇参加者の感想(一部抜粋)◆◇

- これからは日本人が変わらなければいけない。意識の変化が必要ということ強く感じた。
- 決めつけて人を見るのではなく相手の文化などを理解することが大切だということあらためて教えていただきました。
- 信愛塾の活動をもっと知っていただく機会があればいいと思いました。
- 言葉でのコミュニケーションが難しい保護者に接することもあり、いろいろ試行錯誤しています。“寄り添う”を軸に行動していきたいと思いました。
- 外国につながるということに限らず、人との関わり方、距離、気持ち、いろいろな事を学びました。職場に持ち帰ります。
- 国や文化の違いを受け入れ合って日々過ごしていくことに直面し考える事が多くなりました。仕事上、自分の引き出しを増やしていきたいと考えているところです。世界を広げる為にも私も一歩を踏み出したいと思います。
- とても参考になりました。自宅が信愛塾さんに近く、今の場所に移る前の場所も知っています。ですが、実際はどういった活動をなさっているのか、よくわからないままでした。今は外国籍の子ども達と多く関わる仕事をしているので、少しでも、子ども達が良い環境で過ごせるための手助けができたらと思いました。
- 子育て支援の現場発で外国人支援をしています。保育園や小学校に通訳派遣をしていると、行政や学校も対応に困っているようです。外国人と当事者による支援もつつ、現場の課題など発信していきたいです。今日は勉強になりました。



通常、『にこで』は年4回発行していますが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、3月から配布先のほとんどが休止していたため、3か月遅れの発行になりました。ぜひ、ご意見やご感想をお寄せください。<(_ _)>

「にこで～和手～」第32号

【発行】

南区地域子育て支援拠点 はぐはぐの樹 (サポートルーム)

〒232-0056 南区通町4-115 アイライン弘明寺2階

TEL:720-3655 FAX:715-3815

MAIL: info@haghagnoki.jp